つなぐ！つなげる！活用する！

教科等横断的な学び

ステージ＆ステップ　小学校版

どのように

誰と

何を意識して

キーワード			ステージ	ステップ		
			ステージ１ **各教科等の** **つながりそうな部分**	スタート		各教科等の内容について確認していない。
				①		各教科等の単元や題材で取扱う内容（教材・教具、学習テーマや学習活動等）について確認する。
				②		教科等間の内容相互の関連について考える。
				ゴール		各教科等の内容でつながりそうな部分を知っている。
		年間指導計画や単元配列表を操作しながら、 （線で結ぶ、加筆する、順番を入れ替えるなど）	**ステージ２** **各教科等の** **内容のつながり** **〔年間指導計画や単元配列表〕**	スタート		各教科等の内容でつながりそうな部分を知っている。
				P	①	各教科等の単元や題材で取扱う内容（教材・教具、学習テーマや学習活動等）について確認する。
					②	教科等間の内容相互の関連について考える。
					③	いつ、どの教科等の、どの単元・題材で、どのような指導で取り組むか考える。
				D	④	教科等横断を意識して、授業を行う。
				C	⑤	児童の姿から指導内容の関連について成果や課題を振り返る。
				A	⑥	事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。
				ゴール		各教科等の内容のつながりを理解している。
	複数の先生と連携して、	年間指導計画や単元配列表を操作しながら、 （線で結ぶ、加筆する、順番を入れ替えるなど）	**ステージ３** **各教科等の** **資質・能力のつながり** **〔年間指導計画や単元配列表〕** **〔先生方との連携〕**	スタート		各教科等の内容のつながりを理解している。
				P	①	各教科等で育成する資質・能力（身に付けた力・身に付けたい力）について確認する。 （指導内容について、その基礎的・基本的知識及び技能を明確にする。）
					②	教科等間の指導内容相互の関連や資質・能力（身に付けた力）の活用について考える。
					③	いつ、どの教科等の、どの単元・題材で、どのような指導で取り組むか考える。 （発展的・系統的な指導ができるように指導内容を配列する。授業時数や一単位時間の構成を定める。）
				D	④	教科等横断を意識して、（身に付けたい力を育成する）授業を行う。（児童自らが気付けるように…） ・ある教科等で身に付けた力を他教科等で活用する授業
				C	⑤	児童の姿から資質・能力（身に付けた力）の活用について成果や課題を振り返る。 （評価の資料を収集し、検討する。整理した問題点を検討し、原因と背景を明らかにする。）
				A	⑥	事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。
				ゴール		各教科等の資質・能力のつながりを理解している。
学校で育成を目指す資質・能力を、	教職員全体で共有して、	年間指導計画や単元配列表を操作しながら、 （線で結ぶ、加筆する、順番を入れ替えるなど）	**ステージ４** **学校で育成を目指す** **資質・能力と** **各教科等の資質・能力の** **つながり** **〔年間指導計画や単元配列表〕** **〔教職員全体で共有〕** **〔学校で育成を目指す資質・能力〕**	スタート		各教科等の資質・能力のつながりを理解している。
				P	①	学校で育成を目指す資質・能力と各教科等で育成する資質・能力（身に付けた力・身に付けたい力）との関連について確認する。（指導内容について、その基礎的・基本的知識及び技能を明確にする。）
					②	いつ、どの教科等の、どの単元・題材で、どのような指導で取り組むか考える。 （発展的・系統的な指導ができるように指導内容を配列する。授業時数や一単位時間の構成を定める。）
				D	③	学校で育成を目指す資質・能力を意識して、授業を行う。（児童自らが気付けるように） ・学校で育成を目指す資質・能力と各教科等の資質・能力とを関連させた授業
				C	④	児童の姿から資質・能力の関連について成果や課題を振り返る。 （評価の資料を収集し、検討する。整理した問題点を検討し、原因と背景を明らかにする。）
				A	⑤	事後や次年度に生かせるように改善案をつくり、実施する。
				ゴール		学校で育成を目指す資質・能力と各教科等の資質・能力とのつながりを理解している。
キーワード			ステージ	ステップ		

「教科等横断的な学び」への意識の深まり

島根県教育センター浜田教育センター　研究・研修スタッフ